



フロント メザニン モジュールの取り付け

この章では、次の事項について説明します。

- [UCS X24g M1 フロント メザニン モジュールの取り付けと取り外し](#) (1 ページ)
- [コンピューティングノードカバーの取り外しと取り付け](#) (2 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの取り外し](#) (4 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの取り付け](#) (6 ページ)
- [フロント メザニン ドライブの構成](#) (8 ページ)

UCS X24g M1 フロント メザニン モジュールの取り付けと取り外し

フロント メザニン モジュールは、Cisco UCS X シリーズ コンピューティング ノードのフロント メザニン スロットに取り付けます。

- [必要な工具](#) (1 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの取り付け](#) (6 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの取り外し](#) (4 ページ)

必要な工具

Cisco UCS X24g M1 フロント メザニン モジュールを取り付けるために必要な特別なキットはありません。ただし、インストール中に次の項目を使用できるようにしてください。

- フロント メザニンには以下が含まれます：
 - 最大 6 台の SAS/SATA/U.3 NVMe ドライブのサポート。
 - フィラー ブランク。



- (注) 1つのU.3ドライブと共にCisco UCS X24g M1 フロント メザニン モジュールを注文すると未使用のドライブスロットは、空白欄に事前入力されています。追加のフィラー ブランクはCisco UCSC-BBLKD-S2 から購入できます。

UCS X24g M1 フロント メザニン モジュールの取り付けまたは取り外しには、シスコが提供していない次の追加機器が必要です。

- T8 トルクスドライバ
- #2 プラス ドライバ
- トルク ドライバ

コンピューティングノードカバーの取り外しと取り付け

Cisco UCS X シリーズ コンピューティングノードの上部カバーを取り外して、内部コンポーネント（一部は現場交換可能）にアクセスできます。上部カバーの緑色のボタンはコンピューティングノードを解放し、シャーシから取り外すことができるようにします。

- [コンピューティングノードカバーの取り外し](#) (2 ページ)
- [コンピューティングノードカバーの取り付け](#) (3 ページ)

コンピューティングノードカバーの取り外し

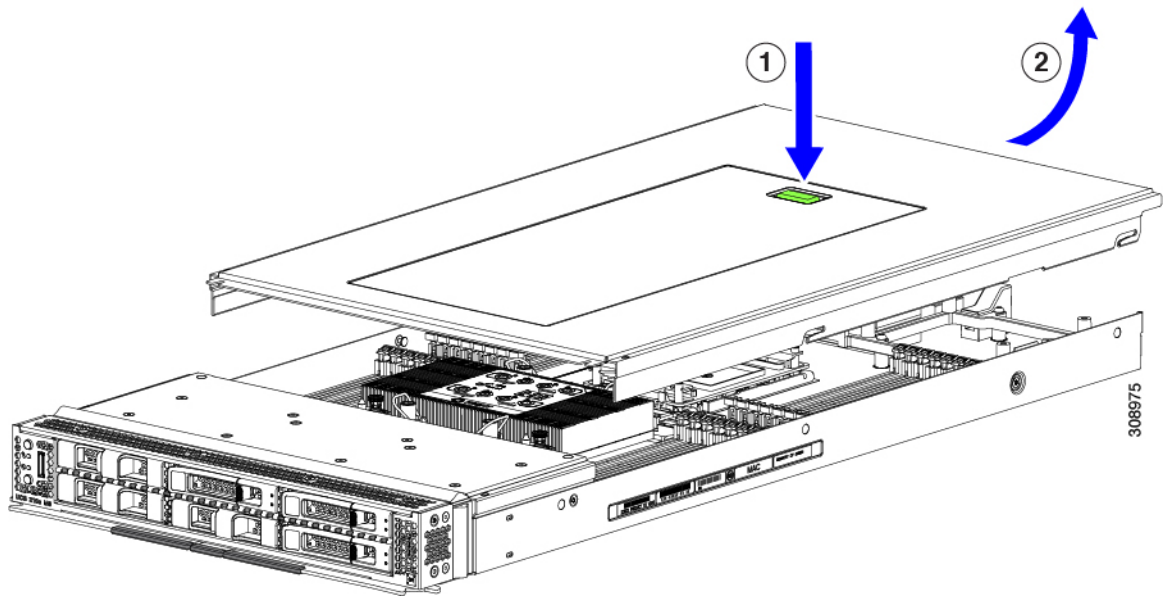
UCS X シリーズのコンピューティング ノードのカバーを取り外すには、次のステップに従います。

手順

ステップ 1 ボタンを押し、押し続けます（次の図の 1）。

ステップ 2 カバーの後ろ端をつかんでカバーを後方に引き、引き上げます（2）。

カバーを後方にスライドさせると、前面メザニンモジュールの背面にある金属製の縁が前面エッジから外れるようになります。



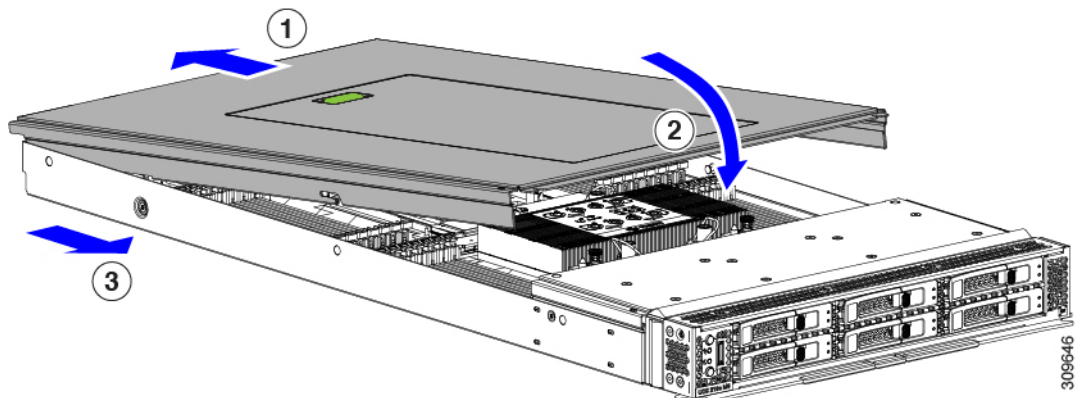
コンピューティングノードカバーの取り付け

UCS X-シリーズ コンピューティング ノードの取り外した上部カバーを取り付けるには、次の作業を実行します。

手順

ステップ1 カバーをベースのストッパに当たるように角度を付けて挿入します。

ステップ2 コンピューティングノードのカバーを下まで下げます。



ステップ3 コンピューティングノードのカバーを平らにしたまま、リリースボタンがカチッと音がするまで前方にスライドさせます。

フロントメザニンモジュールの取り外し

前面メザニンモジュールを取り外すには、次の手順を実行します。この手順は、次のモジュールに適用されます。

- RAID コントローラ モジュール (UCSX-RAID-M1L6)

始める前に

前面メザニンモジュールを取り外すには、T8 ドライバと #2 プラスドライバが必要です。

手順

ステップ1 コンピューティングノードのカバーがまだ取り外されていない場合は、ここで取り外します。

[コンピューティングノードカバーの取り外し \(2 ページ\)](#) を参照してください。

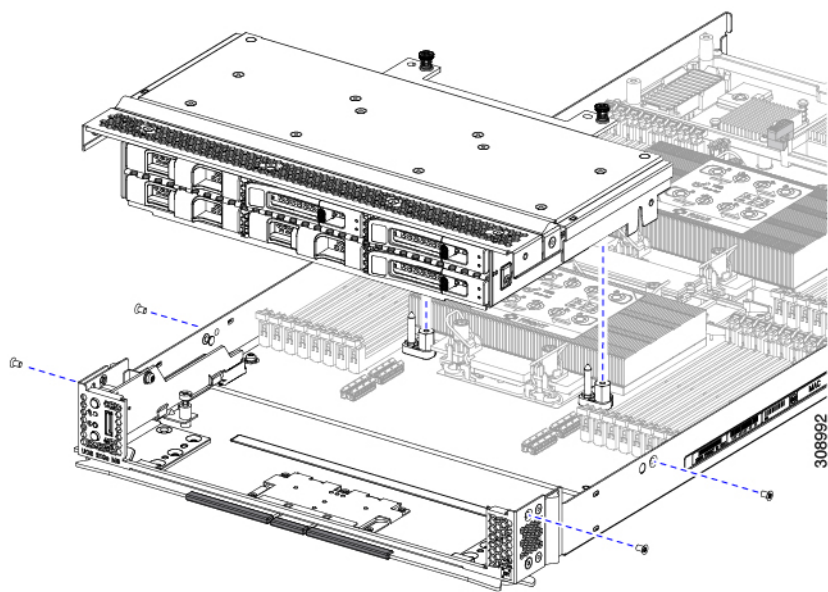
ステップ2 固定ネジを取り外します。

- a) #2 プラスドライバを使用して、前面メザニンモジュールの上部にある 2 つの非脱落型ネジを緩めます。

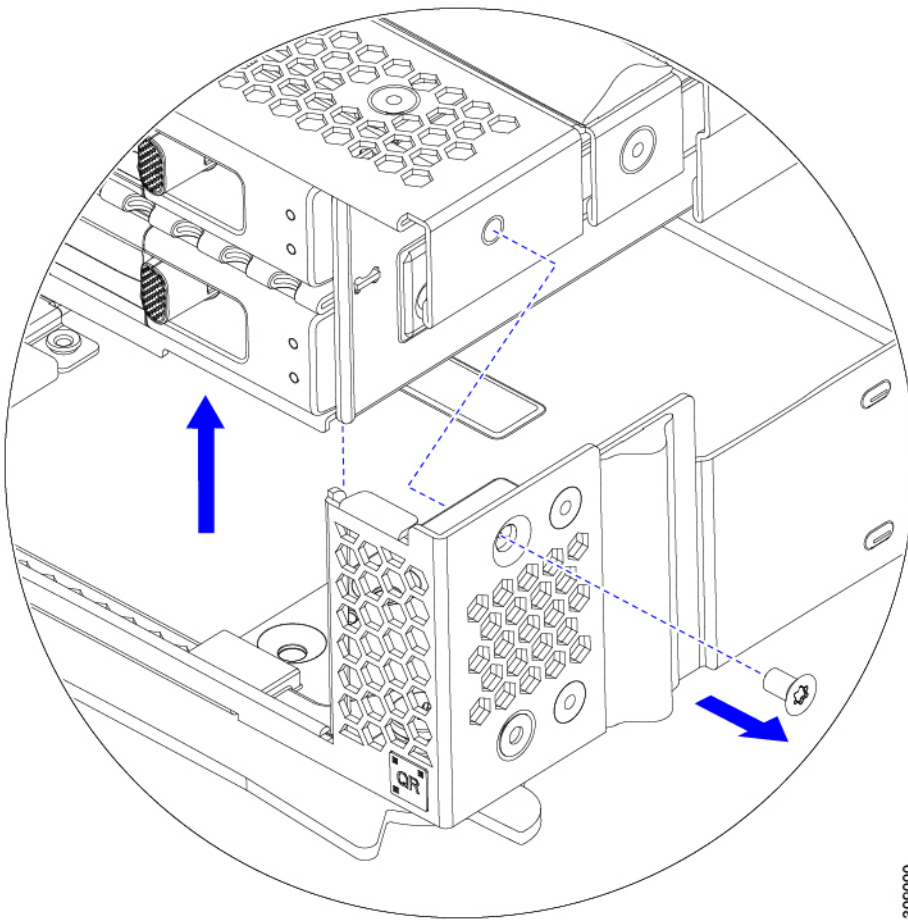
(注)

前面メザニン ブランク (UCSX-M8A-FMEZZBLK) を取り外す場合は、この手順を省略できます。

- b) T8 ドライバを使用して、フロントメザニンモジュールをシートメタルに固定しているコンピューティングノードの両側にある 2 本のネジを取り外します。



ステップ3 すべてのネジが外されていることを確認し、フロントメザニンモジュールを持ち上げてコンピューティングノードから取り外します。



305000

次のタスク

フロントメザニンモジュールを取り付けるには、「[前面メザニンモジュールの取り付け](#)」を参照してください。

フロントメザニンモジュールの取り付け

前面メザニンモジュールを取り付けるには、次の手順を使用します。この手順は、次のモジュールに適用されます。

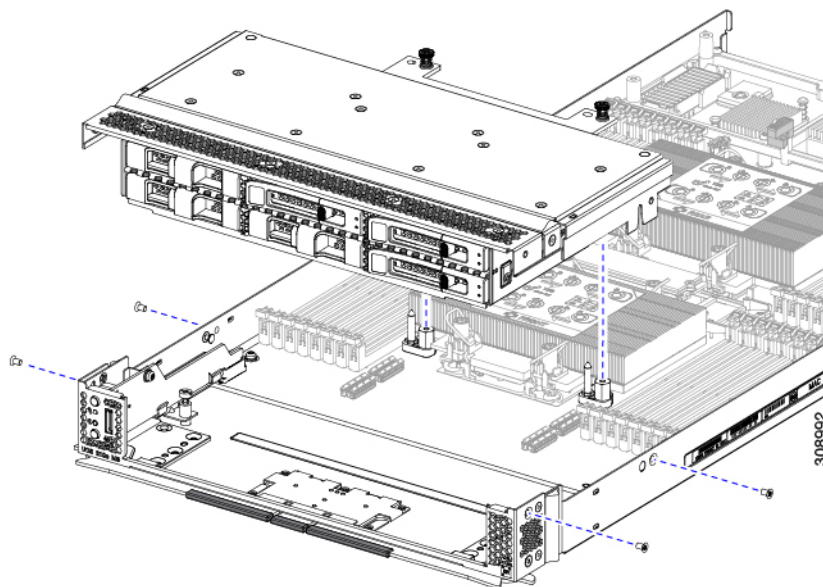
- RAID コントローラ モジュール (UCSX-RAID-M1L6)

始める前に

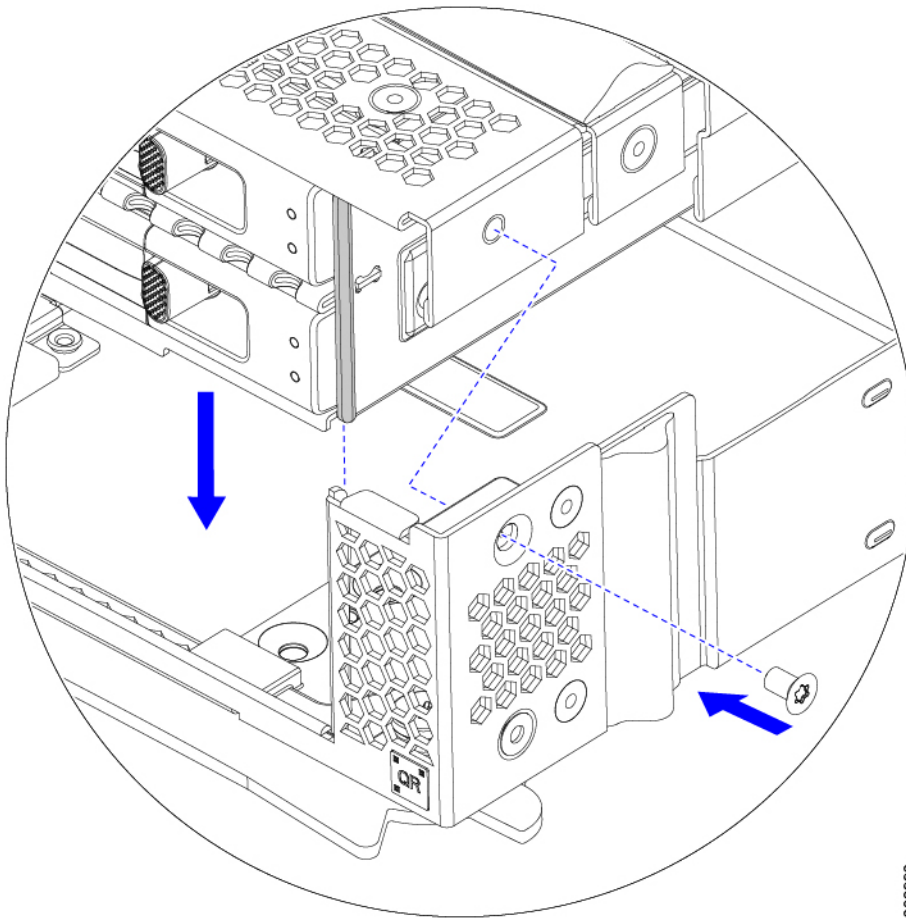
前面メザニンモジュールを取り付けるには、T8 ドライバと #2 プラスドライバが必要です。

手順

- ステップ1** 前面メザニンモジュールをコンピューティングノードのスロットに合わせます。
- ステップ2** 前面メザニンモジュールをコンピューティングノードの上に下ろし、ネジとネジ穴が揃っていることを確認します。
- ステップ3** 前面メザニンモジュールをコンピューティングノードに固定します。
- a) #2 プラスドライバを使用して、前面メザニンモジュールの上部にある非脱落型ネジを締めます。



- b) T8 ドライバを使用して、サーバノードの両側に 2 本ずつ、4 本のネジを差し込んで締めます。



308993

次のタスク

前面メザニンモジュールからドライブを取り外した場合は、ここで再度取り付けます。「[ドライブの置き換え](#)」を参照してください。

フロントメザニンドライブの構成

Cisco UCS X24g M1 フロントメザニンU.3 ドライブは、Intersight 管理モード（Cisco Intersight 管理モード）の Cisco Intersight 管理プラットフォームを使用して構成し、管理できます。詳細については、*Cisco Intersight Managed Mode Configuration Guide* を参照してください。次の URL: [Cisco Intersight 管理モード コンフィギュレーション ガイド](#)にあります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。